

行政視察等報告書

平成31年3月15日

境港市議会
議長 柗 康 弘 様

会派名 無所属
代表者 景 山 憲



下記のとおり行政視察（調査・研修）を行ったので、その結果を報告します。

記

1 視察等期間	平成31年2月6～7日
2 視察等先 及び内容	<p>○平成31年2月6日（水） △視察先 埼玉県秩父市 △視察内容 市庁舎の建て替えについて 秩父宮記念市民会館の管理運営について 特に、新庁舎及び記念市民会館は合築という形態をとっており管理運営計画の策定の経過及び現在の状況の説明を受けたものである。 説明者 市民会館長他</p> <p>○平成31年2月7日（木） △視察先 東京都江東区 東京ビッグサイト △視察内容 東京ビッグサイトで開催されている東京ケアウィーク2019の各展示ブースの視察と一部説明を受けた。</p>
3 視察等議員	景 山 憲
4 総 経 費	合計（1名）51,820円 1人当たり 51,820円 ※一人当たり経費に端数が出る場合は円未満切り捨て
所 見 等	別紙のとおり

○秩父市

△視察内容：秩父市新庁舎及び秩父宮記念市民会館の建設について

- ・平成17年4月1日市1町3村の合併によって新秩父市が誕生した。合併に伴う経過の中で、旧秩父市庁舎の耐震性から、耐震改修も検討されたが、東日本大震災を受け、市庁舎、記念館を合築し建設することになった。
- ・本庁舎建設等建設推進本部の設置など市庁舎の建設の流れ、市民ワークショップの内容などについて説明を受けた。
- ・建設の基本方針としては、1 災害に強く、防災拠点となる安心・安全な庁舎。2 利用しやすく、親しみやすい庁舎。3 郷土の誇り、芸術文化の創造空間としての市民会館等8項目。
- ・大きな特徴として、特産のケヤキ材を多く活用した、木のぬくもりを感じる内装であった。
- ・建設財源は、おおむね合併特例債を当てたものであった。

△所見

～なぜ今、新市庁舎と新市民会館の合築での建設についての視察か～

本市の市庁舎は、耐震改修を施し耐震性を高めたくて、使用している。

近い将来、本市でも老朽化や維持管理コストあるいは修繕経費の増加等の観点からも、市庁舎の新築建設について議論することになるものと考えられる。しかしながら建設に当たっては、多大な経費が見込まれることから、現段階での発議は時期尚早の感があるが、将来の行政需要、市民福祉の充実確保に必要な事務スペースの確保のための規模等、これからの市庁舎について研究をかさねる必要があるもの考えることからである。

- こうした観点から見た場合、本市で現在進行している、(仮称)市民交流センターの建設に当たって、市庁舎との合築という点は一考に値する考え方であると考えるが現時点では遅きに失することである。

秩父市の市庁舎の建設に当たっての基本理念は、行政機能の継続を前提とした「災害に強い庁舎」であるため、耐震性能は基準の1.5倍とし、被災者対応、多機能広場の整備等の視点に立ち建設されたものであり参考とするべきものであった。また、秩父宮記念市民会館の管理は、基本は市の直営で運営されていたが、舞台技術管理業務、会館運営支援業務(主に自主事業)は委託されている。

○東京ビッグサイト 東京ケアウィーク2019

△視察内容

東京ケアウィーク2019では、豊かな超高齢社会の構築を目指し、介護事業に関する介護用品の開発の現状と新商品、次世代介護テクノロジー、超高齢社会のまちづくり、健康長寿に関する商品等大規模な展示会を視察し、同時に各ブー

スの担当者及び事業者からそれぞれの商品の特徴、利点、開発の現状及び今後の方向について説明を聞いたものである。

△所見

超高齢社会の到来を間近にし、介護に関する最先端であると思える様々な用品の開発の現状、その実際のテクノロジーや商品を見たところであるが、これから必要になると見込まれること、テクニク等大いに参考になった。

その例として、買い物弱者支援の新しい可能性としてのVRスーパーネットサービスの展開、高齢者見守りセンサー、家庭内自動ドア、紙おむつの燃料化の促進、行政窓口での有効と思える機器等具体的に検討する必要があると感じたところである。

以上報告します。